

かっ とっ ぽ

2019
2月

平成31年2月1日号 毎月発行No.160

目 次

- P1～2・・・認定看護師について
- P2・・・・松尾技師が医療功労賞を受賞しました
- P3～4・・・平成30年度接遇アンケート結果報告
- P5・・・・外来担当医一覧
- P6・・・・栄養管理室のオススメレシピ
- P7・・・・あとかき／マンガ ター坊



長崎県上五島病院 <http://www.kamigoto-hospital.jp/>

〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 1549 番地 11

T E L 0959-52-3000 F A X 0959-52-2981

認定看護師について

認定看護師とは、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいいます。

当院には、がん性疼痛看護認定看護師1名と摂食・嚥下障害看護認定看護師1名が在籍し、活躍しています。

今回は、2名の認定看護師がそれぞれの役割や活動内容を紹介します。

摂食嚥下障害看護認定看護師

ー「食べる」を通して患者さんを支えていきたいー

認定看護師とは、看護師として5年以上の実務経験を持ち、日本看護協会が定める認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格を言います。21分野が認定看護分野に特定されており、19,894名の認定看護師が全国で活動をしています。私が取得した「摂食嚥下障害看護」認定看護師は全国に882名、長崎県には6名おり、各施設や地域で活動を行っています。

認定看護師の主な活動としては、患者さんや患者さんのご家族に、より良い看護を提供できるよう、認定看護分野の専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・相談・指導」を果たし、看護の質の向上に努めています。

私は、2014年に摂食嚥下障害看護認定看護師を取得しました。認定看護師になりたてのころは、自分の所属病棟の患者さんへ介入するのが精いっぱいでしたが、病棟や他部署のスタッフ、NST委員会の協力もあり、少しずつ活動範囲を広められ、現在では週に1回、病院全体の摂食嚥下障害を持つ患者さんへ介入が出来るようになりました。経口摂取につなげられた事例だけではなく、「食べる」を通して、最期をどのように過ごすかという視点でも関わらせていただくこともあり、日々、患者さんやそのご家族、スタッフから学ばせてもらうことも多く、看護の素晴らしさ、大切さを実感しています。

地域への活動としては、島内の介護施設へ出向き、嚥下障害に関する知識や、食事介助・口腔ケアの方法といった手技の伝達を行っています。また、地域で介護をサポートする方へは、口腔機能を低下させないためにどのような生活をしていくか、予防的な観点を含め、レクレーションを通して講座を行っています。これらの活動が根付き、病院だけでなく地域で患者さんを支えていけるような活動ができればいいと考えています。

認定看護師は5年ごとに更新となり、今年は更新の年にあたります。新たな気持ちで取り組めるよう日々努力していきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。



(摂食嚥下障害看護認定看護師 山野 則子)

がん性疼痛看護認定看護師

ーがんによる苦痛をやわらげ、その人らしい生き方を支援したいー

がんは、日本人の死因で最も多い病気です。現在、3人に1人ががんで亡くなっています。

「緩和ケア」とは、がん治療の初期段階から、治療と一緒に受けることができる、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアです。

がん性疼痛看護認定看護師は、がんの疼痛マネジメントを行い、疼痛緩和ケアを提供するため、痛みに合わせた適切な薬物使用と管理や対処方法など専門の教育を受けた看護師です。



がんの痛みは身体的苦痛、精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインと様々な要因が重なって生じると言われており、痛みに対しさまざまな視点で介入していく必要があります。また、がんの初期段階から痛みをコントロールすることで、自分らしい生活を送ることができるので、早期からの患者様、ご家族への積極的な介入を心がけています。

がんになっても変わらず、その人らしい生き方を全力で支援することが私の役割です。お話しすることで気持ちが楽になることもあるかと思うので、ご相談があればどうかお気軽に声をかけ下さい。

認定看護師としての主な活動内容は、①病棟での患者様・ご家族への看護実践、②患者様、ご家族への説明時の同席と支援、③院内ラウンド(火/週)、④スタッフに対する患者様・ご家族へのケア方法の相談や指導、⑤がん性疼痛看護に関するスタッフ教育、などがあります。



また当院には緩和ケア委員会があり、緩和ケア研修(PEACE)を受けた医師、がん性疼痛看護認定看護師を始め、外来/病棟/訪問看護師、薬剤師、理学・作業療法士、管理栄養士の多職種で構成された緩和ケアチームを設置しています。チームでは患者様・ご家族、スタッフからのがんに関わる相談を受け、月に2回合同緩和カンファレンスを行い、それぞれが専門的立場から意見を出しながら、解決あるいは緩和できるように活動しています。ご相談があればまずは院内スタッフにお気軽に声をかけ下さい。

(がん性疼痛看護認定看護師 坪井 久美)

松尾技師が医療功労賞を受賞しました

医療功労賞とは、地域医療に貢献してきた方をを顕彰する目的で読売新聞社が設立したものです。今回、第47回長崎県医療功労賞を当院の松尾正敏診療放射線技師が受賞しました。

医療功労賞を受賞して

このたび、第47回長崎県医療功労賞(主催:読売新聞社)を受賞することができました。その表彰式が平成31年1月24日に、NIB長崎国際テレビ局内で行われ、読売新聞長崎支局長より表彰を受けました。今日までご指導賜りました八坂院長並びに白浜前院長と職場や保健行政関係者など多くの方々の支えや協力いただいた地域の皆様のおかげだと深く感謝しております。

振り返ってみますと、昭和60年28歳で大阪よりUターンし、上五島病院に勤務。以後、離島医療という環境の中、チーム医療を意識し日常の診療業務や検診業務の中で技師としての役割を心がけて、今日まで来たような気がします。そのような中での印象に残ることを少し述べてみたいと思います。働きはじめた頃の病院は80床ほどの古い木造の建物でした。職員は割と若い人が多く、もうすぐ新しい建物ができる期待のような雰囲気が漂っていました。1年半後、現在の地に150床の立派な建物が新築移転。その昭和61年6月の新築に伴い上五島にもCTが初導入され、脳卒中をはじめ多くの疾患の診断に威力を発揮しました。救急患者さんなど大村の長崎医療センターへのヘリ搬送もCT画像が活躍したと思います。

検診業務では昭和60年から10年近く町内に限らず、小値賀島、宇久島、その周辺の小離島と西海市の平島、江ノ島など町外の検診にも腹部超音波検診のスタッフとして幾度か参加。県の巡回検診船に乗り込み島から島へ移動したり、本島内の検診会場となる公民館を回ったりしていました。世界遺産になった小値賀町野崎島もその一つで、当時ほんの数人ですが島民の皆さんも受診されてました。残念なことに平成13年に無人島になったそうです。

このように、普通に仕事をしてきただけの私は賞には縁が無いものと思っていたので、受賞の通知に驚き、恐縮すること大でした。この賞は私個人で受賞したものでなく前述しました多くの方々、いっしょに頑張った同僚といただいたようなものです。今後も地域の保健医療に微力ですが貢献できればと思っています。

ここに改めて感謝し心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

(診療放射線技師 松尾 正敏)

平成30年度接遇アンケート結果報告

こんにちは。接遇委員会です。

当委員会では上五島病院・有川医療センター・奈良尾医療センターでの接遇向上を目指し、様々な活動を行っています。

その活動の一環で、患者さん向けの接遇アンケートを例年実施しております。

平成30年度は、

【入院部門】

・上五島病院 …平成30年10月9日～平成30年10月26日

【外来部門】

・上五島病院 …平成30年10月1日～平成30年10月5日

・有川医療センター・奈良尾医療センター

…平成30年10月1日～平成30年10月12日



で実施し、集計および評価につきましては(株)総合メディカル様に委託させていただきました。

ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

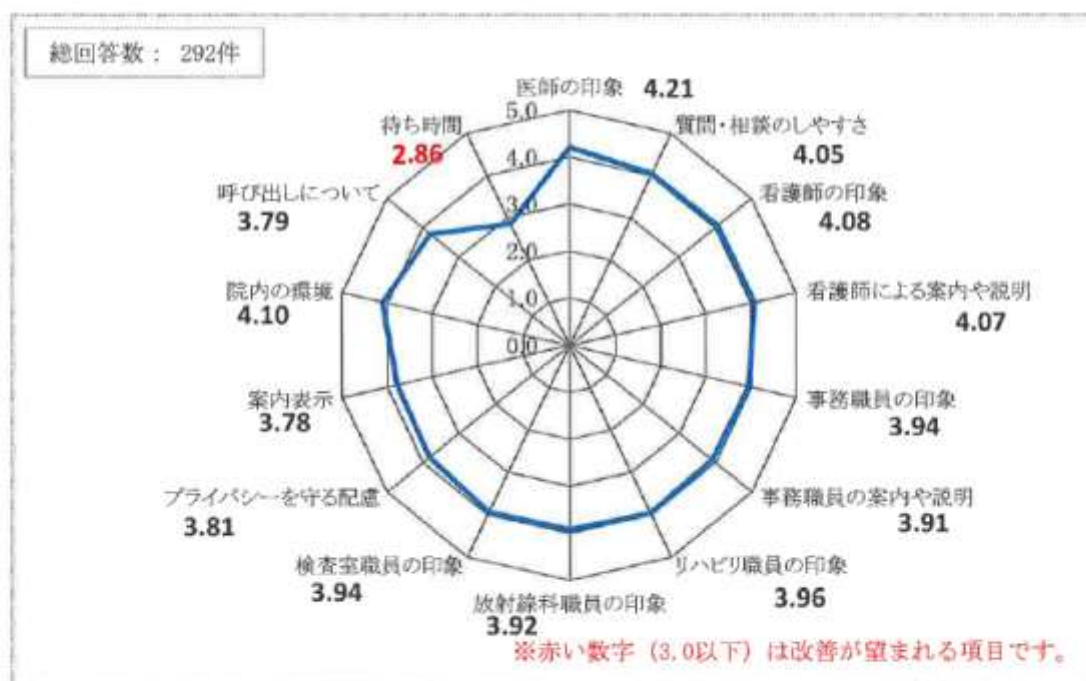
アンケートの結果につきまして、総合評価の部分を抜粋して今回のかつとつぽに掲載させていただきます。

なお、全文につきましては、上五島病院ホームページより閲覧可能となっておりますので、興味のある方はそちらをご覧ください。

※外来部門につきましては、上五島病院・有川医療センター・奈良尾医療センターのすべての合計となっております。ご了承ください。

《 外来部門アンケート結果 》

今回調査の平均得点 3.89 点





●総評(外来部門)

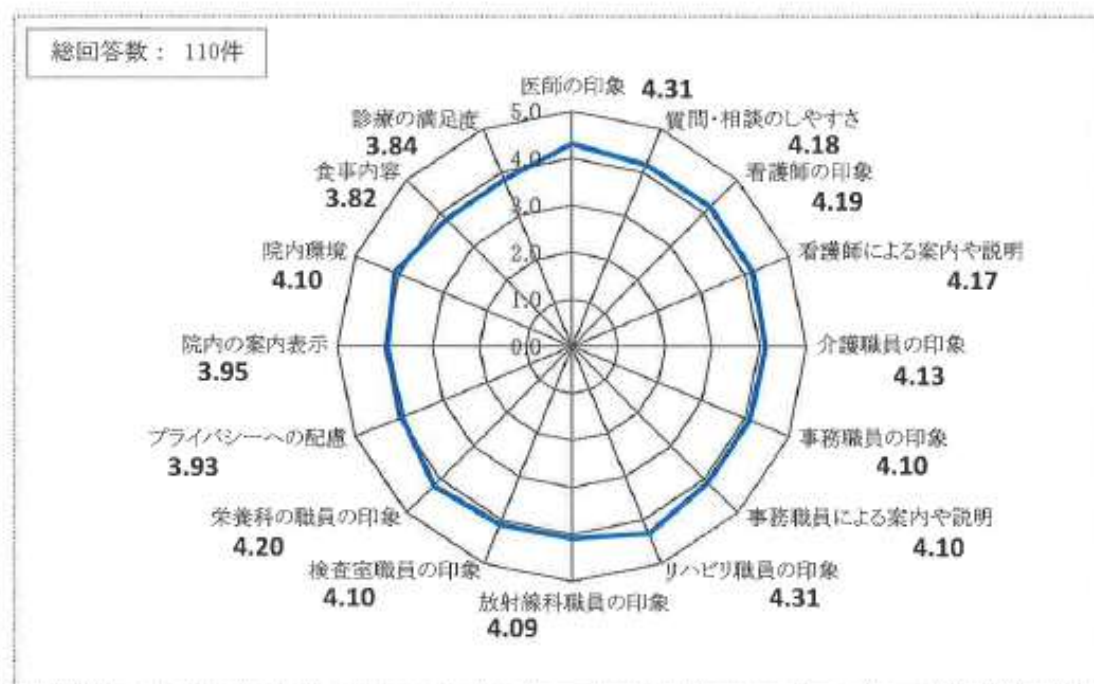
ほとんどの項目において良い結果が得られています。中でも、『医師の印象』に対する評価は高く、貴院の強みと言えます。

ただし、『待ち時間』については低い評価のため、今後の課題と思われます。

今回の結果、患者さんの声で挙げた問題点を、ひとつひとつクリアにしていけることで、患者さんからの信頼感はさらに強まり、満足度の向上につながると考えます。この結果を受けての具体的な取り組みを実践し、患者さんへフィードバックすることで、さらに患者さんの信頼を得られることを期待いたします。

《 入院部門アンケート結果 》

今回調査の平均得点 4.10 点



●総評(入院部門)

ほとんどの項目において良い結果が得られています。中でも、『医師の印象』に対する評価は高く、貴院の強みと言えます。

ただし、『食事内容』については低い評価のため、今後の課題と思われます。

今回の結果、患者さんの声で挙げた問題点を、ひとつひとつクリアにしていけることで、患者さんからの信頼感はさらに強まり、満足度の向上につながると考えます。この結果を受けての具体的な取り組みを実践し、患者さんへフィードバックすることで、さらに患者さんの信頼を得られることを期待いたします。



平成31年2月の特診外来予定

	泌尿器科	耳鼻科	神経内科	循環器科	皮膚科	眼科
2月1日(金)	迎先生 午前、午後					
2月4日(月)		松本先生 午前、午後	調先生 午前、午後			
2月5日(火)		松本先生 午前				前川先生 午前・午後
2月6日(水)					岩永先生 午前	前川先生 午前
2月7日(木)	大坪先生 午前、午後					
2月8日(金)	大坪先生 午前、午後					
2月11日(祝)						
2月12日(火)		森先生 午前	森先生 午前、午後	土居先生・本田先生 午前		
2月13日(水)					鍬塚先生 午前	
2月14日(木)	中村先生 午前、午後					
2月15日(金)	中村先生 午前、午後					
2月18日(月)		中尾先生 午前、午後				
2月19日(火)		中尾先生 午前				前川先生 午前・午後
2月20日(水)					竹中先生 午前	前川先生 午前
2月21日(木)	相良先生 午前、午後					
2月22日(金)	相良先生 午前、午後					
2月25日(月)		渡邊先生 午前、午後				
2月26日(火)		渡邊先生 午前		土居先生 午前		
2月27日(水)					村山先生 午前	
2月28日(木)	計屋先生 午前、午後					

※赤字の診察は予約・紹介予約の患者さんのみです。

※船の欠航等により、予定は変更となる場合があります。ご了承ください。

※診療開始時刻は医師来院時の交通機関の都合により、9:00～10:00頃の間で変動します。ご了承ください。



栄養管理室のオススメレシピ 揚げない魚フライ

普段は油で揚げる魚のフライですが、調理法を変えてエネルギーを抑えてみました。
どのくらいエネルギーは変わるでしょう。



《栄養価》(1人分)

エネルギー : 225kcal
 蛋白質 : 20.9g
 脂質 : 7.7g
 炭水化物 : 17.3g
 食塩 : 1g

作 り 方

- ① 魚の切り身を、塩コショウで味付け、小麦粉をまぶす。
- ② パン粉をフライパンに入れ中火できつね色になるまで炒る。
- ③ ①に、溶き卵、炒ったパン粉の順にころもをつけ、アルミホイルにならべる。
- ④ トースターで7～9分焼き、器に千キャベツ、トマトと共に盛り付ける。

材 料 (2人分)

- 魚の切り身・・・・・・・・・・120g
- 塩コショウ・・・・・・・・・・少々
- 小麦粉・・・・・・・・・・少々
- パン粉・・・・・・・・・・大さじ4
- 卵・・・・・・・・・・1/2個
- 千キャベツ・・・・・・・・・・80g
- ミニトマト・・・・・・・・・・1個

《アドバイス》

●魚は、鯛など白身魚をおすすめしますが、アジや鮭などでも美味しくいただけます。

●揚げ物の油の吸収率は、下記のようになります。

- ・素揚げ(約3～8%)
- ・から揚げ(約6～8%)
- ・てんぷら(約15～25%)
- ・フライ(約10～20%)

※食材によって異なります。

例)ナスの素揚げ 12%

今回の料理は、フライだった為、吸収率15%として、9g。油は9kcal/gになりますので81kcalダウンしたことになります。



マンガ

原作：ウゼ

－ あとがき －



2月といえば「節分」です。

改めて調べてみると、節分とは本来、「季節を分ける」つまりは「季節の変わり目」のことを意味します。季節が



移り変わる「節日」を指し、「立春・立夏・立秋・立冬」とそれぞれの前日を指すもので、1年に4回あったのです。その中でも、厳しい冬の季節を乗り越えた後の「立春」は1年の始まりとして特に尊ばれ、旧暦で年があらたまる重要な日にあたっていたため、次第に「節分」といえば「立春」の前日のみを指すようになっていきました。そして、しだいに2月3日を意味するようになったようです。

昔は季節の分かれ目には「邪気」が入りやすいと考えられており、



「年の分かれ目：節分」は最も大切な節目であるため、旧年の厄や災難を払い清めるなど、鬼を追い払う行事が始まったようです。

皆さんも、「鬼は外、福は内！」と言いながら、豆まきをし、「邪気」を払って、清々しい春を迎えましょう。

(広報委員 S.T.)



○基本理念

地域と共に歩み、

信頼され親しまれる病院

○行動目標

- ①地域住民の信頼と満足の得られる医療を提供します
- ②医療・看護・介護・予防・生活支援が一体化した地域包括ケアシステムを構築します
- ③病院機能を充実するため、人材育成とチーム医療を実践します



◆ご意見、ご感想を下記までお寄せください。

長崎県上五島病院

857-4404

長崎県南松浦郡新上五島町青方郷1549-11

電話 0959-52-3000

FAX 0959-52-2981

Email kamihp@gold.ocn.ne.jp

URL <http://www.kamigoto-hospital.jp>